(参考項目:28)

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】					
	事業所番号	事業所番号0175000413法人名社会福祉法人北見有愛会事業所名グループホームゆう&あいひまわり(1Fユニット)所在地北見市花園町38番地6			
	法人名				
	事業所名				
	所在地				
	自己評価作成日	平成28年2月10日	評価結果市町村受理日	平成28年4月13日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。 基本情報リンク先URL 1/index.php?action kouhyou detail 2015 022 kani=true&JigyosyoCd=0175000413-(

【評価機関概要(評価機関記入)】 評価機関名 有限会社 NAVIRE 北海道北見市とん田東町453-3 所在地 平成28年3月30日 訪問調査日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】	
グループホームひまわりでは、利用者の方々に最期までその人らしく過ごして頂く事ができるよう	
古才 車業能理会でもる「咸謝」の与性もた亡れず レーレープ言奴古ぶたサルー オーバウルー	アル汗太

ます。事業所理念である「感謝」の気持ちを忘れず、人と人として喜怒哀楽を共にし、本人が安心して生活を送る事はもちろん、ご家族にも精神的負担を少しでも軽減できるかを考え、その結果入所後の認知症の緩和にも繋げる事ができております。

職員については知識や技術の向上を図る事だけでなく、社会に携わる一員としての自覚を持ち、謙虚さと他 人を尊重する気持ちを豊かにしていけるよう努めております。

【外部評価で催認した事業所の愛れている点、工天点(評価機関記人)】					

٧.	. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します					
	項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項目	↓該当す	取り組みの成果 るものに〇印
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を	0 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの	-	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができてい	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと
)6	掴んでいる (参考項目:23,24,25)	3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	る (参考項目:9,10,19)		3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域		1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度
57	ある (参考項目:18,38)	3. たまにある 4. ほとんどない	64	の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	0	3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	O 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている
, ,		3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	- 1			3. あまり増えていない 4. 全くいない
9	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	1. ほぼ全ての利用者が ② 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
0	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
1	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1 ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	0	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
2	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	O 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが		1		1.100.00 00 00 00

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価及び外部評価結果

自己	外部評価	項目	自己評価	外社	部評価
一個	評価	^ -	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ι.:	理念	に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念 をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実 践につなげている	権利擁護や自己実現、自立支援といった法人理念と、事業所理念を作成し、日々利用者やご家族と接する事に「感謝」の気持ちを忘れず、業務に携わるよう職員同士で声を掛け合い共有実践に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流 している	町内会行事への参加や運営推進会議、法人の行事等で地域の方々と交流の機会を設けている。また、消防訓練の際にも地域の方々に参加して頂き協力体制を築いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活 かしている	運営推進会議などの際に相談を受けるほか、 ご家族の親戚や知人で施設入居を検討されて いる方の入居相談についても行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを 行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族や包括支援センター、町内会の方に意 見や相談を頂き、利用者のサービスへの反映 や地域の人への協力体制を築いている。		
5	4	〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝え ながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護福祉課や保護課との連絡の中で、相談 や助言を頂いたり、緊急案件での入居相談等 も受付けるなどし、協力関係を築いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修や身体拘束委員会のほかに、外部研修へ積極的に介護職員が参加を行うなどして、身体拘束廃止への取り組みを行っている。また研修報告会を行い、職員全体での意識向上に努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学 ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待 が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に 努めている	虐待防止委員会や内外部の研修を通して、意 識向上を図り、ヒヤリハットや事故報告等の事 例検討を行う事により、職員同士の監視、抑 制力と共通認識、協力体制を構築している。		

自己	外部評価	項目	自己評価	外	外部評価	
評価	評価	2 =	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性 を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援 している	定期的な内部研修や北見市、包括支援センターが主催する研修へ参加するなどして、知識を深めている。また、研修会へ参加した職員は他職員への報告を行っている。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い 理解・納得を図っている	契約の際には書面に沿って説明を行い、ご理解頂いた上での署名捺印を頂いている。また契約内容を改めて確認した上で、不明な点がみられた場合は連絡相談をして頂くようお伝えしている。			
10	6	〇運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並 びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に 反映させている	ご家族が来所された際に状態報告を行っている。また、必要に応じて電話連絡等を行い、相談や要望に早期対応できるよう心掛けている。			
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提 案を聞く機会を設け、反映させている	法人の管理者による会議や施設での定期的な会議のほか、今後施設がどう運営していくべきか職員個々の理想像を提案してもらうなどし、意見を反映できるよう心掛けている。また、日頃からコミュニケーションを図る機会を設け、業務改善に努めている。			
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務 状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいな ど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条 件の整備に努めている	また、定期的な給与や条件の見直しも法人と			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際 と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の 確保や、働きながらトレーニングしていくことを進め ている	代表者は人間性豊かな精神を持つことで職員としてのスキルアップを目標としており、資格取得や必要な研修への体制を整えている。また、管理者やリーダーも社会人として、専門職としての認識を持ち業務に携わるよう日頃から職員へ指導を行っている。			
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会 を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の 活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り 組みをしている	他事業所との定期的な会議や意見交換の場を設ける事により、より良いサービスの提供に 繋がるよう心掛けている。			

自己部	水 耶 項 目	自己評価	外打	邻評価
評信	-	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安/	心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15	サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始前に、ご家族やかかりつけ 医療機関等に協力をお願いし、ご本人との面 談の中から、困っている事の聞き取りや希望 を確認している。また、入居直後は積極的に 職員から声掛けを行う事で、出来る限り不安 を感じる事がないよう努めている。		
16	サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、 関係づくりに努めている	入居前より施設見学や電話連絡等を通して、 ご家族の要望を聞き、関係づくりを行うほか、 何か気づいた事や不安を感じた際には連絡を して頂くよう声をかけ、信頼関係の構築に努め ている。		
17	が「その時」まず必要としている支援を見極め、他 のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前よりご本人やご家族の希望を確認する機会を設けている。また、入居後もできるだけ社会との関わりが希薄にならないようサービスの内容を検討し、対応に努めている。		
18	職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩としての尊敬の念を持ち、お互いを助け合っていくという気持ちを持ちながら、 利用者の方々と接し、自己決定を尊重している。		
19	職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設運営やサービスの提供内容についても常にご家族へ相談を行っていると共に、キーパーソンに限らず状況報告を行って関係を築いている。また外出行事の時には、ご家族の参加もお願いし、ご本人と過ごす時間を大切に出来るよう努めている。		
20 8	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所 との関係が途切れないよう、支援に努めている	親類の方やご友人などが面会に来られ、居室でゆっくりと過ごして頂くほかに、外出準備等の支援を行っている。また、ご家族がご本人の身体状況や精神状況に不安を感じ、遠慮がちな様子も見られるため、出来る限りの協力をさせて頂くようお伝えしている。		
21	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士でのコミュニケーションが困難な場合でも、職員が仲介に入る事により馴染みの雰囲気で穏やかに過ごされるよう努めている。時に、認知症状の軽度の方が重度の方の手伝いや声掛けをして下さる様子も見受けられる。		

自己	外部評価	項目	自己評価	外音	部評価
評価	評価	× 1	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		〇関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の 経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も電話連絡やお手紙を頂き、知人の入 居相談を受けるなどしたり、手作りの装飾品を 寄付して頂くなどしている。		
		の人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン			
23	9	〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	ご本人との日常会話の中や、ご家族からお話しを伺い、希望や意向の把握に努め、それまでの生き方を尊重した、個性を大切に暮らす支援に努めている。また、ご家族や本人の意向とズレを生じる場合には、何度も時間をかけて話し合いを行い、理解して頂けるよう努めている。		
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴や趣味趣向の確認を行っている。また入居後も、ご本人との会話についてご家族へ報告を行い、更に詳しいお話を伺うなどして把握し、サービスに反映できるよう努めている。		
25		〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力 等の現状の把握に努めている	日常的に観察し、個々の状況を把握するようにしている。画一的ではなく利用者個々のペースで生活して頂けるよう支援し、変化が見られる場合にはその都度、記録、報告、検討を行い、把握に努めている。		
		○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方に ついて、本人、家族、必要な関係者と話し合い、そ れぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した 介護計画を作成している	モニタリングやアセスメントから状況に即した 計画を作成するようにしている。ご本人やご家 族と話し合い意向をできるだけ反映できるよう 取り組んでいる。		
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	誰が見ても現状が理解出来る様な記録を行うよう話し合いを日頃から行っていると共に、表情、仕草、言動等もありのままに記録し、プラン作成時にその情報を確認し、見直しや検討を行っている。		
28	$ \ \ $	〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	今年度はあまり機会がなかったものの、個別ケアやご家族への協力を視点におき、入院時の付き添いや入院期間中の洗濯物の入れ替え等積極的に協力できる事をお伝えし、支援するよう心掛けている。		
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	生活保護や福祉制度を活用し、住み慣れた地域での生活ができるよう支援している。医療機関についてもそれぞれの馴染みの場所を利用して頂き、不安なく生活していけるよう支援している。		

自己評	外部評	項 目	自己評価	<i>ያ</i> ኑ ፣	部評価
評価	i 評	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
30		○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きな がら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの医療機関や本人、ご家族の希望される医療機関を利用し、受診時には職員が同行して主治医へ状況報告等を行っている。また急変時や終末期への対応等についても相談を行い、指示を受け関係構築に努めている。		
31		えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	医療連携体制を導入し、看護職員による健康 状態の把握、確認を行っている。また、個別に 訪問看護の契約も可能であり、主治医との電 話相談や助言・指示を頂く等連携を取った支 援を行っている。		
32		しいる。	入院となる時には職員が同行し、情報提供等を行っている。また、定期的な面会をし、オムツ類等の消耗品を届けたり、入院中の状況を確認し、ご家族へ連絡するなどして、ご家族が不安になる事のないよう支援している。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で できることを十分に説明しながら方針を共有し、地 域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に看取り指針をもとに説明を行っている。ご本人の状態変化が見られた際にはご本人やご家族、主治医、SW等との連携を図り、出来るだけ希望に添った支援ができるよう取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員 は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実 践力を身に付けている	事業所作成の緊急時マニュアル等をもとに、 会議や申し送り時などに話し合いを行って共 通認識での対応ができるよう取り組んでいる。		
		〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利 用者が避難できる方法を全職員が身につけるとと もに、地域との協力体制を築いている	防災マニュアルの改訂を実施したほか、訓練 や研修も定期的に行っている。また、訓練に は町内会の方も参加され、消火訓練を行うほ か、避難場所の確認や見守り等の体制も整備 されている。		
		D人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36		○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	利用者ひとりひとりに合わせた会話や支援に 努めている。また、日頃より客観的な視点で自 分を見つめ業務に当たるよう指導し、職員間 でも声を掛け合うなどして、意識を保つよう心 掛けている。		

自己	引 外 1 部 項 目 6 価		自己評価	<i>ያ</i> ኑ ፣	部評価
評価	評価	~ -	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	好きな事や興味深い話題を提供し、希望や意見を伺う事でさりげない意思決定を出来る場面を作ったり、興味業務上、職員が判断に迷い上司に聞いてくる場合、まず、本人に聞いたかどうかを問いかけ、ご本人の意思を確認するよう指導している。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人 ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過 ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活習慣や自分のペースを把握し、画 一的なケアにならぬよう心掛けている。精神状 況や体調などを考慮し、声掛けを積極的に 行ったり、ゆっくりと話を聞く時間を設けるなど 配慮を行っている。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	衣類や化粧、生活用品の準備等も自ら決める 事ができるよう声掛け、準備をしている。また、 手直しが必要な場合でも、気分を害さぬような 支援に努めている。		
40	15	〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備 や食事、片付けをしている	おしぼり等の配膳の準備や片付けの手伝いをして下さっている。季節行事の時は行事に合った献立を提供したり、それぞれの誕生会にはご本人が好みのものを提供するなどしている。		
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態やカ、習慣に応 じた支援をしている	食事中の状況や嚥下状態を観察と、食事量、 飲水量の記録を行っている。摂取量低下がみ られる場合には、主治医と相談を行うなどし て、職員間で情報を共有し支援に努めてい る。		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケア をしている	毎食後に声掛けをし、口腔ケアや義歯の洗浄を行っている。また、個別に歯科受診や往診を行っているほか、外部研修会への参加をし、知識や技術の向上に努めている。		
43	16	〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの 力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの 排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の記録から排尿パタ―ンや排便間隔を把握し、個別に支援を行っている。立位保持が困難な方についても、ご本人の希望時や排便時は、出来るだけトイレでの排泄をして頂けるよう取り組んでいる。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫 や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り 組んでいる	排便間隔や飲水量を記録し、腹部マッサージや乳製品をすすめるなどして便秘緩和に努めている。また、主治医へ相談を行い内服薬の調整や下剤の処方などをして頂き対応をしている。		

自己	外部評価	項目	自己評価	<i>ያ</i> ኑ ፣	部評価
一一一一	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽 しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めて しまわずに、個々にそった支援をしている	大まかに曜日を決めてはいるが、ご本人の気分や体調に合わせ日時の変更を行い、定期的な入浴に努めている。身体状況に合わせ、職員二人で介助を行うなどして、安心して入浴して頂けるよう努めるほか、自尊心や羞恥心に配慮し楽しんで頂けるよう努めている。		
46		している	希望時や体力の低下がみられる方は、体調に応じて、休息を促すよう声掛けしている。就寝時は、個々の生活習慣に応じて、就寝を促している。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	処方された薬の記録は職員全員で確認し、いつでも再確認ができるようファイルしてある。また、薬が変更になった際は、ご本人の変化を記録し主治医へ報告や相談を行っている。		
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人 ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽し みごと、気分転換等の支援をしている	たい事の支援をしている。また、健康に支障のない程度に嗜好品を楽しむ支援も行っている。		
49		ないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や 地域の人々と協力しながら出かけられるように支援 している	身体状況の悪化等により、以前より外出の機会や範囲が狭くなってきている方もおられるが、ご家族への相談や協力のもと地域行事等に参加するなどしている。また気軽に近隣の散歩や買い物などにいけるよう支援を行っている。		
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解して おり、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持 したり使えるように支援している	ご家族の希望があり、ほぼ全ての方のお小遣い程度は施設で管理させて頂いている。その他にも少額程度なら自分で管理されている方もおり、買い物などの際には、自分で支払いを行うなど、個々に合わせた支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	居室に電話はないが、いつでもご家族やご友 人に連絡する事ができる。また、郵便局も近い ため手紙のやり取りも希望があればいつでも 可能である。		
52		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴 室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまね くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地 よく過ごせるような工夫をしている	生活感がある温かみのある落ち着いた雰囲気の空間つくりに努めている。季節に応じた装飾品などは利用者の方と共に飾りつけをしたり、意見を伺うなどして行っている。		

自己	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用 者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫 をしている	居間ソファーで休まれたり、テレビを視聴したり、読書や編み物、塗り絵をするなど、個々が 思い思いに過ごされている。介助が必要な方 も、職員と一緒に本を読んだり歌をうたわれた りして過ごされている。		
54		〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし て、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしてい る	馴染みの入居前より使用されていた家具や生活用品を持ち込んで頂き、ご家族の写真や手作りの装飾品を飾るなどして、落ち着いて自分らしく過ごせるようにしている。		
5	$ \cdot $	〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	時計やカレンダーなどを見やすい位置に掲示し、声掛けや見守りを行う事により、混乱することのないよう配慮している。		